

2019年度

技術本部成果発表会

昨年度の研究成果を多くの皆様にご報告し、JASA 技術本部の活動にご理解いただくことを目的に成果発表会を開催いたします。

発表会后、発表者・技術本部委員との交流を深めていただくため、交流会をご用意いたしました。お申込みは先着順ですので、お早目のお申込みをお待ちしております。

日 時 2019年5月20日(月) 受付開始 12:30～ (受付にてお名刺を1枚ご提出下さい。)
発表会 12:50～17:30 / 交流会 : 18:00～20:00

場 所 発表会 : TKP ガーデンシティ御茶ノ水
東京都千代田区神田駿河台三丁目 11-1 三井住友海上駿河台新館 2F/3F
[map] <https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-ochanomizu/access/>

交流会 : 越後酒房 八海山 御茶ノ水店
東京都千代田区神田駿河台 2-2-4 御茶ノ水駅前ビル 8F
[map] <https://tabelog.com/tokyo/A1310/A131002/13155469/party/>

参加費 発表会 : 無料
交流会 : 会員 4,000 円/人(税込) 一般 4,500 円/人(税込)

*参加費は発表会の受付で現金にてお支払いいただきます(領収書を発行いたします)。

【申込はこちら】 <https://forms.gle/L9mMZS7QxBsVpyFFA>

		2019年発表プログラム	
開始	終了	A会場	B会場
12:50	12:55	開会あいさつ	開会あいさつ
13:00	13:30	A-1 【安全性向上委員会】安全仕様化WG	B-1 【IoT技術高度化委員会】ドローンWG
13:30	14:00	A-2 【安全性向上委員会】ロボット安全WG	B-2 【IoT技術高度化委員会】スマートライフWG
14:00	14:30	A-3 【安全性向上委員会】情報セキュリティWG	B-3 【IoT技術高度化委員会】エネルギーハーベスティングWG
14:30	14:40	～休憩～	～休憩～
14:40	15:10	A-4 【応用技術調査委員会】アジャイル	B-4 【応用技術調査委員会】ロボティクスWG
15:10	15:40	A-5 【IoT技術高度化委員会】組込みIoTモデリングWG	B-5 【応用技術調査委員会】OSS活用WG
15:40	15:50	～休憩～	～休憩～
15:50	16:20	A-6 【応用技術調査委員会】状態遷移設計研究WG	B-6 【応用技術調査委員会】AI研究WG
16:20	16:50	A-7 【応用技術調査委員会】Open EL WG	B-7 【ハードウェア委員会】
16:50	17:00	～休憩～	A会場に移動
17:00	17:15	IPA	
17:15	17:30	都産技研	

お申込方法 : Webフォームにて受付けております。

Web 申し込みフォーム <https://forms.gle/L9mMZS7QxBsVpyFFA>

問合せ先 : JASA 本部事務局 樋口宛 TEL:03-5643-0211 E-mail : higuchi@jasa.or.jp

【締切り】 満席になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申込みください。

◆発表プログラム概要			
委員会名	【A-1】安全仕様化WG	講演者氏名	余宮 尚志
講演テーマ名	AI・IoT時代を見据えたセーフティ技術の知見を体系化する取り組み		
講演概要	AI・IoT時代の到来で、システムとソフトウェアの大規模化・複雑化が一層進むとともに、従来には無い、未知の製品・サービスが増えてきている。同時に、安全性の確保が課題となるが、その土台となる国際標準レベルの安全設計を遂行できる管理者やエンジニアが圧倒的に不足している。安全仕様化WGでは、このような課題の解消を図るため、セーフティ技術における既存の知見を体系化するとともに、技術教育の提供を開始することにした。本発表では、知見の体系化の成果として、発売が決定した書籍化の取り組みを中心に紹介する。		
委員会名	【A-2】ロボット安全WG	講演者氏名	調整中
講演テーマ名	調整中		
講演概要	調整中		
委員会名	【A-3】情報セキュリティWG	講演者氏名	牧野 進二
講演テーマ名	組込み機器開発におけるセキュリティの考え方 ～セキュリティ設計における2つの視点～		
講演概要	情報セキュリティWGでのセキュリティ活動を通じて、現場技術者が視点として持たなければならない点に関するセキュリティの要点を解説する。システム全体からIoT機器のセキュリティとして考えなければならない視点を解説する。開発プロセスにおいては、実際に機器を対象にセキュリティの分析を行った結果から、上流、下流設計におけるセキュリティ設計の視点やシステム全体の設計視点に関しての解説をする。		
委員会名	【A-4】アジャイル研究会	講演者氏名	秋谷 勤
講演テーマ名	アジャイルで変える意識と開発方法～2018年度の活動報告～		
講演概要	アジャイル研究会では『アジャイルな考え方』を実践し、自分たちの開発の問題点を見つけその改善を進めてきた。今回はアジャイルによって意識が変わってくるのがわかり、実際にアジャイルを取り入れた実例とともにその結果と考察をご紹介します。		
委員会名	【A-5】組込みIoTモデリングWG	講演者氏名	渡辺 博之
講演テーマ名	IoT時代のビジネスモデルは、“モデル”で考えよう！		
講演概要	当WGでは、従来の技術主導型のモデルではなく、IoT時代に必要な、ビジネスやリスクを検討するための「合意形成、説明責任」主導型のモデルを調査している。今回の講演では、新しいビジネスモデルを検討する段階で「モデル」を使って可視化・整理することの有用性について、実際に当WGで実践してきたモデリング事例を使いながら紹介する。また、さまざまな「モデル」の強みや特徴を考慮した上で、それらをどのように使い分けるかについても言及する。		
委員会名	【A-6】状態遷移設計研究WG	講演者氏名	青木 奈央
講演テーマ名	ついに公開！レガシーコードをリサイクル！ ～リバースモデリングツール RExSTM for Cのご紹介～		
講演概要	JASAの状態遷移設計研究会では、以前よりレガシーコードから状態遷移表をリバースモデリングする手法の研究に取り組んでおり、その一環としてリバースエンジニアリングを補助する ツール RExSTM for C を開発している。本セミナーでは、過去5年間にわたって研究してきたリバースモデリングツールの開発について紹介する。		
委員会名	【A-7】OPENEL WG	講演者氏名	中村 憲一
講演テーマ名	なぜオープンイノベーションは失敗したのか？		
講演概要	JASAでは、2011年からOpenELを提案し、広く仲間を増やしながら活動を続けてきました。そして、何度も仕様書の版を重ねた結果、ついに実製品に採用できるレベルとなり、2018年5月にISOに、2018年6月にOMGにOpenEL 3.1を国際標準として提案するまでに至りましたが、残念ながらISOとOMG共に頓挫しました。本講演では、その経緯について報告し、その原因について分析した上で、今後、失敗しないための解決策について考察します。		

◆発表プログラム概要

委員会名	【B-1】ドローンWG	講演者氏名	小林 康博
講演テーマ名	移動するIoTをオープンソースで実現する ドローンWG活動報告とArduPilotを活用したドローン自作レシピの紹介		
講演概要	ドローンワーキングでは、産業用ドローン市場の立ち上げ、組み込みオープンソースの普及拡大に努めている。JASAの強みを活かした高信頼性プラットフォームを実現し、我が国の将来の産業となるドローン「移動するIoT」に応える。 今回は「ArduPilot」を活用し、自作ドローンを作成する為のレシピを整備、将来のエンジニアの育成から、高信頼性プラットフォームまでを一気通貫で考え、産業界に寄与する活動を紹介する。		
委員会名	【B-2】スマートライフWG	講演者氏名	國井雄介
講演テーマ名	スマートライフにおけるQoL向上とエモーションデータの活用検討 ～スマートハウスにおけるスマート睡眠デモ事例紹介～		
講演概要	「スマートライフWG」では、生活におけるさまざまなシーンで、QoL向上のために、人の感情や状態に即したIoTサービスを実現するユースケースの研究を行っている。本セミナーでは、18年度の活動実績の紹介と東大IoT特別研究室と共同で行ったスマートハウスにおけるスマート睡眠のデモ事例を紹介する。		
委員会名	【B-3】エネルギーハーベスティングWG	講演者氏名	富岡 理
講演テーマ名	IoTの電力を担うエネルギーハーベスティングの可能性と課題		
講演概要	センサーノードやエッジデバイスの電源問題の解決に期待されるエネルギーハーベスティング。ミリワットやマイクロワットオーダーの電力を上手に利用するにあたっての可能性と課題について述べる。 少量多品種、エッジ技術、エンジニアリング力など、組み込み技術との共通点も多く、「エネハベ相談所」としてニーズを収集する活動について紹介する。		
委員会名	【B-4】ロボティクスWG	講演者氏名	調整中
講演テーマ名	調整中		
講演概要	調整中		
委員会名	【B-5】OSS活用WG	講演者氏名	竹岡尚三
講演テーマ名	ロボット、機械学習AI OSSの紹介とOSSの品質についてのアプローチ		
講演概要	オープンソースソフトウェア(OSS)は無償で使用できるソフトウェアである。高度なロボットやドローンをつくり上げることができる大規模なOSSミドルウェアが、自動運転、ロボットなどで使用されている。また、人工知能(AI)ソフトウェアもOSSが多数ある。それらの大規模OSSミドルウェアの紹介を行う。また、当WGでは、OSSの品質評価について取り組んでおり、そのアプローチと2016～2018年度の成果について述べる。		
委員会名	【B-6】AI研究WG	講演者氏名	中村 仁昭
講演テーマ名	Deep Learning講習で作成したデモの紹介		
講演概要	2019年度のAI研究WGで行なった組込ソフト技術者向けの初心者からのDeep Learning講習の内容紹介と、講習参加メンバーが作成したDeep Learningを使用したデモの紹介。		
委員会名	【B-7】ハードウェア委員会	講演者氏名	碓山 真悟
講演テーマ名	IoT時代から見たハードウェア技術者のタスク		
講演概要	これまでハードウェア委員会では、時代と共に変わる組込みハードウェア技術者の役割を検討してきた。 このIoT時代におけるハードウェア技術者はどうあるべきか、どうレベルアップするのか一例を具体的に示す。		